

着mono通信

yoroduya

2025・10
vol.85



よろづ屋
着物・和のこと Salon

原町本店
〒975-0003
南相馬市原町区栄町2-83
TEL: 0244-24-2929

いわき店
〒970-8026
いわき市平三倉69-8 第2地産ビル1F
TEL: 0246-85-5298

みなさまこんにちは！今年は9月までが真夏といった気候でしたが、ようやく落ち着いた気がします。10月からは袴の季節になるので、大好きな紹を楽しめるのが嬉しいです。さて、9月にゆめはっとで開催しましたよろづ屋「秋のきもの 総力祭」ではたくさんのお客様に足を運んでいただき誠にありがとうございました！お客様のおかげで楽しい3日間でした！！今月はいよいよいわき店での開催です！10月23日～25日まで、いわき駅前ラトブ6階で開催します。詳しくはDM並びにホームページなどでご確認ください。皆様のご来場をスタッフ一同心よりお待ちしております！！

< よろづ屋 着方教室 生徒募集！>

よろづ屋「着方教室」では、気軽に楽しく着物が着られるように、お一人お一人に合ったレッスンをしております。着物を着ることはできるけど、もっときれいに着たい！時間がかかるから着るのがめんどう！着物を自分で着てみたい！など、着物に関するいろいろなお悩みやコーディネートのご相談もお受けいたします。きっと、着物を着ることが楽しくなるはずです！！

着方教室は、原町本店、いわき店にて実施しております。月2回（1回2時間程度）のお稽古で初心者の方も大歓迎です。一緒に楽しくお稽古しましょう！詳しくは、当店までお問い合わせください。



一緒に楽しく
お稽古しましょう！

レッスン：月2回（1回2時間程度）
月謝：3,000円（税込）
※時間や曜日については各店まで
お問合せ下さい。
原町本店 0244-24-2929
いわき店 0246-85-5298



着物を着ながらコーディネート
についても楽しく学べます♪
小物の組み合わせも着姿の大切
なポイントです♪

♪♪和のことサロン♪♪

<原町本店>

- ・つまみ細工教室 月1回のレッスンとなります。毎月第4木曜日 午後2時～参加費：3,000円
- ・はた織り教室 11月の予定はお問い合わせください。参加費：2,000円（別途糸代がかかります）

<いわき店>

- ・組紐教室 ストラップ作り：参加費2,500円（糸代込） 帯締め作り：参加費8,000円～（糸代込）

詳細は原町本店 0244-24-2929

いわき店 0246-85-5298 までお問い合わせください

< お客様コーディネート紹介コーナー >

当店のInstagramやFacebookなどで紹介させていただいております、お客様のコーディネートをこちらのコーナーでもご紹介します！

グレーの無地の紬に矢羽柄の名古屋帯。帯の色に合わせたブルーの帯締はトーンを明るくすることで、スッキリとした印象に。チラッと見える柄の帯揚げがお洒落。



紬の結城紬に型染めの名古屋帯。オリエンタルな花柄が着姿を華やかに印象づけています。明るい黄色系の小物が全体のトーンのアクセントになっています。



格子柄の塩沢に、白鷹の花織の九寸帯。ベージュ系や茶系の着物とグリーンの帯は相性抜群の組み合わせ。クリーム色の帯締で明るく華やかな印象になります。



結城紬に西陣織・大庭の名古屋帯。落ち着いた紬に、抽象的な柄の帯を合わせてモダンに着こなしています。小物のブルーの使い方もお見事です。

〈きもの語 辞典〉はの巻 その4

着物に関して、わからない言葉や知りたい言葉などたくさんあると思います。専門用語が飛び交う中で？？に思うことも多々ありますよね。そんな着物にまつわる言葉を集めて簡単にご紹介していくコーナーです。

〈幅出し（はばだし）〉和裁用語で、身幅を広げること。着物、長襦袢、羽織などの幅を体型に合わせて広げができる技法の一つ。逆に身幅を詰めることを「幅詰め」といいます。前幅を広げる着方も「幅出し」といいます。

〈羽二重（はぶたえ）〉平織りの絹織物の一種。撚りのかかっていない生糸を織った後に精錬することで、なめらかで光沢のある布になります。重さや厚みに種類があり、厚手のものは紋付など礼装の着物に、塩瀬羽二重は帯地に、薄いものは着物の胸裏に用いられています。

〈はんなり（はんなり）〉京都を中心に西日本方面で使われてきた言葉で、語源は「花あり」や「花なり」とされています。上品でやさしげ、しっとりと華やぎのある着姿を表現する代表的な言葉とされます。

・・・女将のつぶやき・・・

行ってきました！ベルーナドーム（西武球場）！私の元気の源であります推しのライブに2日間参戦して参りました！それにしても暑かった。ゆめはっとの催事が終わり、次の日に埼玉へ向かったのですが30度を超える暑さで、さらに空調設備がないベルーナドーム。ドームって言うな～と呼びたくなるくらいの暑さ。もはや巨大テント。そこに集まった3万2千人。そんな暑さの中で、奇声をあげ、飛び跳ねて汗だくになった幸せな2日間でした。帰りの電車に乗るのに改札に入るまで1時間以上かかっても文句なんて…ない…いや、もう行きたくないベルーナドーム



〈きもの歳時記〉 ～知って楽しい和の知識～

知っているようで知らない、着物に関するあれこれ。着物の知識やちょっとした豆知識を、気軽に楽しんでいただけるコーナーです。

群馬県桐生市は古くから「西の西陣、東の桐生」と並び称される織物の産地です。その桐生で生まれた

「桐生絞り」は、布を括ったり縫い寄せたりして染める「絞り染め」の技法を活かしたもの。布地に細やかな凹凸や陰影を生み出し、独特の立体感とやわらかな風合いが特徴です。桐生絞りは江戸時代から親しまれ、浴衣や帯、羽織などさまざまな装いに使われてきました。シンプルながらも奥行きを感じさせる表情は、現代の着こなしにもよく映えます。一見すると控えめですが、近くで見ると職人の手仕事の確かさが伝わるのが桐生絞りの魅力。ぜひ実際に手に取って、その質感を味わってみてください。原町本店では10月16日（木）から「桐生織展」を開催しますのでお楽しみに！

